

厳しい治安情勢に的確に対応するための体制強化について

【 国家公安委員会・警察庁・総務省・財務省 】

提案・要望の内容

依然として厳しい治安情勢等に的確に対応するため、次の措置を講じること。

- ・ 地方警察官30人を緊急増員すること
- ・ 自動車ナンバー自動読取装置を2基整備すること

【 現状と課題 】

地理的状況等の特殊性

- ・ 県土が東西に長く、県東部に大規模テロの対象となる原子力発電所、県西部に外国船籍が頻繁に入港する浜田港を抱えるほか、空港など治安対策上配慮すべき対象が分散している。

島根県の治安情勢

- ・ 刑法犯認知件数が依然として高水準で推移し、県民の体感治安は改善されたとはいえない状況にある。
- ・ 社会的に弱い立場にある子ども・高齢者が狙われる犯罪が多発しているなど、重要犯罪等の手口、方法が悪質化している。
- ・ 自動車を使用し、県境をまたいでボーダレスで犯行するヒット・アンド・アウェイ型犯罪への的確な対応が重要となっている。

【 本県の取組状況・方針 】

組織体制の見直しと業務の合理化

- ・ 組織の効率化を図るため、組織・人員配置の見直しを図るとともに、道路交通法、警備業法等に基づく調査・講習業務などの外部委託、業務の合理化を図っている。

初動警察活動支援システムの整備

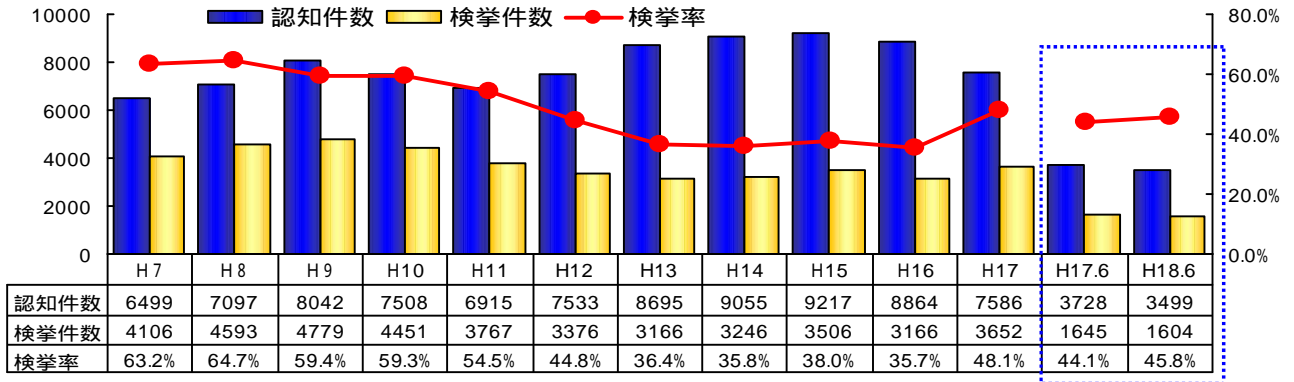
- ・ 国においては、主要国道、高速道、県境を対象とした点の配置で自動車ナンバー自動読取システムを整備しているが、県では、面の配置として初動警察活動支援システムを整備している。

【 提案要望の効果 】

厳しい状況にある治安を回復するための体制の確立が可能となり、「日本一治安の良い地域社会」の実現が図れる。

自動車盗の早期検挙による被害者への早期還付が図れるほか、自動車使用犯罪の検挙向上が期待できる。

刑法犯認知件数は、7,586件で回復傾向にあるものの依然として高水準で推移
 認知件数のうち72.3%は「窃盗犯」
 松江、出雲、浜田、益田署管内で全体の80.9%と犯罪の都市部集中化が進展



認知件数は減少傾向にあるが、犯罪の手口が悪質化

